

検査だより

今年もインフルエンザの季節がやってきました。みなさん、感染対策は大丈夫でしょうか？
改めて、感染経路や予防法を取り上げてみました。各自確認してください。
また、正しく検査を行う為に検体採取についても触れてみました。

①インフルエンザについて



～飛沫・接触感染から守るために～
大切なもの

①マスク

- ・患者様には飛沫の発生防止
- ・職員は飛沫核の吸入防止



②手袋

- ・皮膚に飛沫が付くのを防止



③フェイスシールド

- ・目や鼻の粘膜への曝露防止



自分のできる
予防法です！



初期感染でインフルエンザに
負けない体力維持のために



過労を避け十分に睡眠をとる
栄養と休養を十分にとる

日頃の感染予防のために



うがい、手洗いの励行
咳エチケットの励行
ごみをさける

鼻、のどなどを
乾燥させないために



マスクをする
加湿器などを使用する

ウイルスを減らすために



換気を頻繁に行い、
ウイルス濃度を下げる

感染予防、
治療を高めるために



ワクチンを接種する
抗インフルエンザウイルス薬

《インフルエンザの検査（検体採取方法）について》

インフルエンザの検査は、検査綿棒（スワブ）を鼻孔から耳孔に向かって平行に挿入し、粘膜を数回こすって検体を採取します。採取後、キットを使って判定します。



ある病棟から提出されたスワブ



正しい方法で採取したスワブ



※注意※

発熱後、すぐに病院を受診してもインフルエンザの検査はできません。

熱が出てから12時間以上経っていなければウイルスの量が少なく、仮にインフルエンザであっても反応しない可能性があるからです。

病院へ行くときは・・・

- 熱が出てから半日以上（12時間以上）経ってから行きましょう！
- 病院に行くときは患者本人はもちろん、付き添いの方もマスクをつけて行きましょう！